

2025年 5 月 27 日

各 位

会 社 名 カネ美食品株式会社
代表者名 代表取締役社長 今井 善広
(コード番号2669 東証スタンダード市場)
問合せ先 代表取締役専務執行役員業務統括
江森 優
T E L 052-879-6111 (代表)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、株式会社東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価方法

- 【対 象 者】全取締役（監査等委員である取締役を含む）
- 【実施方法】アンケート調査（回答は無記名方式）
- 【質問内容】C Gコードにかかる下記6項目・全35問
 - I：取締役会の構成等に関する実効性（4問）
 - II：取締役会における議論・検討の実効性（10問）
 - III：取締役会における監督機能の実効性（10問）
 - IV：リーダーシップの実効性（5問）
 - V：環境整備状況の実効性（3問）
 - VI：株主・ステークホルダーへの対応の実効性（3問）
- 【評価方法】全取締役が取締役会評価に関する質問票に回答し、その回答の集計結果に基づき、取締役会において分析・評価

2. 評価結果の概要

上記による調査の結果、前回調査結果同様に、総じて肯定的な評価が多く、特に取締役会における議論・検討の実効性や取締役会における監督機能の実効性については、肯定的な評価が高い割合を占めており、当社取締役会は概ね適切に機能しており、取締役会の実効性は確保されていることを確認いたしました。加えて、前回調査における課題の一つであったリスク管理体制の確立については、組織体制の整備および取り組み推進により肯定的な評価へととなっております。

一方で、代表取締役の後継者計画についての議論、サステナビリティの基本方針策定およびその取り組み、多様性確保に向けた人財育成方針および社内環境整備方針の策定などについては、前回調査同様に、取締役会実効性のさらなる向上を図るために改善すべき課題であることを確認いたしました。

3. 今後の対応

当社取締役会は、調査により浮き彫りとなった課題に対し、取締役会において議論を深める機会を増やし、各取締役からの意見を踏まえながら、より実効性の高い取締役会の実現に向けて様々な取り組みを推し進め、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築およびさらなる企業価値向上を図ってまいります。

以 上